

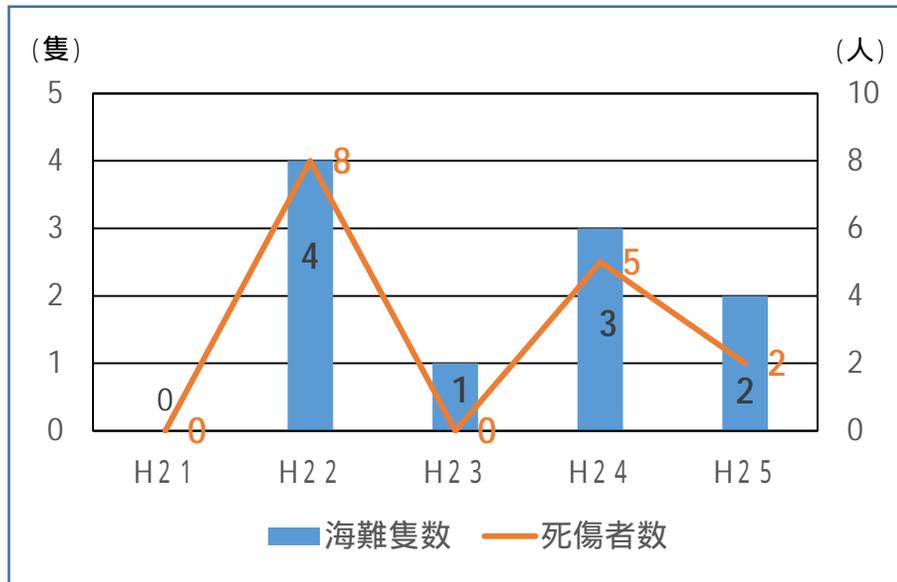
夏季マリンレジャーの事故防止について

水上オートバイの事故が多発しています
海上花火大会観覧船の事故と海浜事故にも注意

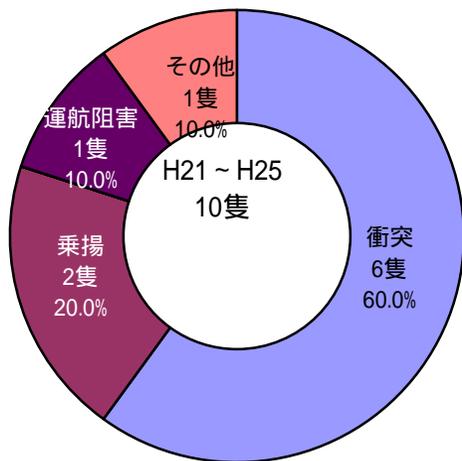
- 水上オートバイの事故が昨年の同時期を上回って発生〔多発〕
- 海上花火大会観覧船の乗揚げ海難が発生〔一步間違えば大惨事〕
- 遊泳中の事故防止〔離岸流への注意、危険な飲酒時の遊泳〕

花火大会観覧に関係した海難(過去5年間(平成21年～平成25年))

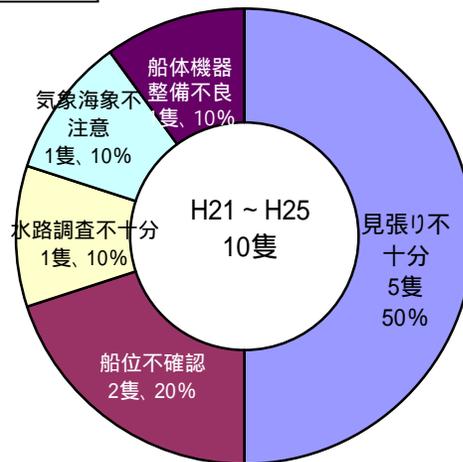
海難の現状



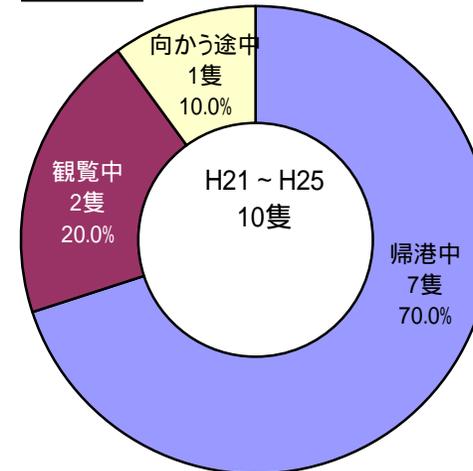
海難種類



海難原因



動態



夏季マリンレジャーの事故防止について

水上オートバイの事故が多発しています
海上花火大会観覧船の事故と海浜事故にも注意

- 水上オートバイの事故が昨年の同時期を上回って発生〔多発〕
- 海上花火大会観覧船の乗揚げ海難が発生〔一步間違えば大惨事〕
- 遊泳中の事故防止〔離岸流への注意、危険な飲酒時の遊泳〕

夏季マリンレジャーの事故防止について

水上オートバイの事故が多発しています

海上花火大会観覧船の事故と海浜事故にも注意

- 水上オートバイの事故が昨年の同時期を上回って発生〔多発〕
- 海上花火大会観覧船の乗揚げ海難が発生〔一步間違えば大惨事〕
- 遊泳中の事故防止〔離岸流への注意、危険な飲酒時の遊泳〕

1. 水上オートバイの事故

(1) 事故の発生状況について

7月23日現在、水上オートバイの事故は、衝突等の船舶事故が9隻発生し5名が負傷するほか、航行中の水上オートバイからの転落等による負傷者9名を合わせると14名に達している。

これは、昨年7月末の水上オートバイによる負傷者6名の2倍以上となっています。

(2) 水上オートバイの事故を防止するために

事故防止のためには基本的な海上交通ルールやマナーを守るほか、特に次の事項に気をつける必要があります。

- ① 狭い海域で多数の水上オートバイが高速航行するので衝突事故の危険性が高く、操船者は周りの状況に十分注意して適切な見張りを行うこと。
- ② スピードの出しすぎ、急旋回が事故につながるので安全を確認して操船すること。また、船体の構造上、乗船者の身体を保護するものがないので注意が必要です。特に同乗者が怪我をするケースが多くなっています。
- ③ 他の水上オートバイやモーターボートだけでなく、曳航されているバナナボートなどの被引浮体遊具や遊泳者にも注意が必要。

2. 海上花火大会観覧船の事故

(1) 今季初めての事故が発生(平成24年3隻、平成25年2隻発生)

〔事故の概要〕

平成26年7月20日(日)午後8時10分頃、明石海峡公園付近で行われた、「第9回淡路市夏まつり花火大会」を観覧するため航行中の11名乗りプレジャーボート(大人7名、子供4名)が、淡路島松帆の浦の消波ブロックに乗り揚げるといふ事故が発生しました。

このプレジャーボートは、船長が機関をニュートラルとして操縦席を離れ、再び操船を開始し速力を増速した途端、乗り揚げ事故を起こしたものであり、原因等詳細は調査中ですが、乗り揚げにより同乗者3名が頸椎捻挫やむち打ち等で負傷し病院に搬送されています。

なお、船長は初めての夜間航行でした。



(2)花火大会観覧船の事故を防止するために

花火観覧前後の衝突、乗り揚げ事故を防止するために次の事項に気を付ける必要があります。

- ① 発航前点検や厳重な見張り等、基本的事項の徹底（軽率海難の防止）
- ② 航行海域、気象情報などの事前調査（夜間航行となり昼間とは景観が変化）
- ③ 防波堤やブイ、浅瀬などの存在に注意（衝突や乗り揚げ海難の防止、帰港中の事故に注意）
- ④ ライフジャケットの常時着用、海中転落に注意（夜間の海中転落は見つけにくい）
- ⑤ 操船者の酒酔い操縦などの禁止（免許停止等行政処分の対象）
- ⑥ 航泊禁止区域（※）の確認（観覧船舶が進入すると花火大会は中断）
（※）港長等が危険防止のため、港長公示により船舶の航行及び停泊を制限する措置
（※）花火大会に際して、港長から船舶による観覧の自粛をお願いする場合があります

3. 遊泳中の事故防止

平成25年の管内の遊泳中の事故者は23人発生しており、特に7～8月に集中しています。

このため、遊泳中は次のことに注意する必要があります。

(1)子供から目を離さない

7～8月の夏休み期間中は、小中高校の児童・生徒の事故が集中して発生しています。家族連れで海水浴に出かける機会が多くなる時期なので、特に幼児や小学校低学年の児童の保護者にあつては子供から目を離さないように注意してください。

(2)離岸流に注意

離岸流は外洋に面した長い海浜や河口に多く存在し、一見するだけではその存在はわからないのですが、海水浴場として指定された区域以外のところでは、強い離岸流が

存在するところが数多くあり危険なので、遊泳は控えましょう。

(3) 遊泳前の十分な休養と飲酒の遊泳への影響

深夜や早朝の移動を伴うこともあり、車の運転等で疲れた体は運動能力などが低下しています。遊泳は比較的運動量が多く体力を消耗するので、遊泳前は十分な休養を取った上で楽しみましょう。

また飲酒は、アルコールの影響で平衡感覚などの感覚器官が鈍るとともに運動能力も低下するので、平常なら容易に回避できる危険も、アルコールの影響で回避できないことがあるので、飲酒時の遊泳は控えましょう。

《参考》

関西地区の居住者は、比較的平穏な日本海側へ海水浴に行っていますが、第八管区海上保安本部(京都府舞鶴市)の発表によりますと、同管内で昨年7～8月に発生したマリンレジャーに伴う人身事故者49人中、約3割にあたる14人が兵庫県南部(10人)、大阪府(4人)の居住者となっています。